

若手研究者が考える現場に根ざした研究  
「**腹割れ**」現象の疑問解消の  
取り組みを例に



水産研究・教育機構 日本海区水産研究所  
研究員 吉川 茜

腹割れは  
クレームの原因なので  
選別時に**投棄**するが...

いつ多い？  
なぜ起こる？  
単価への影響は？



出荷するニギス

漁業者

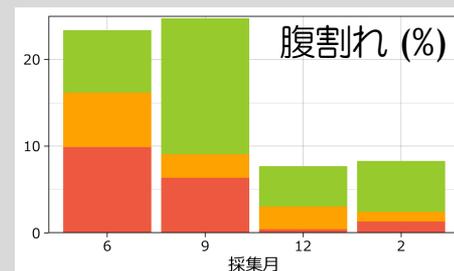
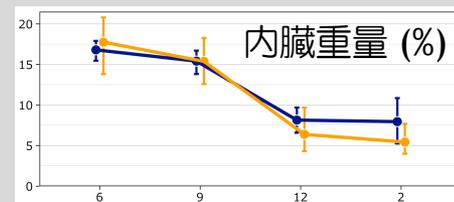
選別前ニギス

腹割れ+ゴミ

# 疑問解消のお手伝い（1年間の調査研究）

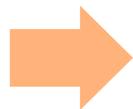
腹割れは、

- ① 冷凍すると腹割れ10倍
- ② 内臓体積が大きい夏に腹割れ
- ③ 単価への影響は限定的



なので、

- **操業** …現状では対策の余地、必要性少ない
- **利用** …冷凍加工はストック活用など工夫を



標本をいただいた漁業者  
知り合いの加工業者

# 現場に根ざそうとしたものの...

## 現場にうまく還元、反映できていない

- ニギス漁業の関係者全員に情報を届けるには？
- 現場の作業工程は、すぐには変わらない

## ローカルすぎる研究テーマ

- 学問ベースではないので論文化がしにくい
- どんな分野でブラッシュアップすれば？

## 業務に直結せず、動きづらい

- 現場課題の完全な受け皿になりきれない